

第27回全日本スピードスケート距離別選手権大会 要 項

2020年9月6日
2020年9月16日修正
2020年9月20日修正
2020年9月23日修正

1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟(以下「本連盟」という。)

2. 共催

長野市

3. 後援

長野県 長野県教育委員会 公益財団法人長野県スポーツ協会 長野市教育委員会
公益財団法人長野市スポーツ協会 信濃毎日新聞社 NBS 長野放送 株式会社エムウェーブ 一般財団法人上月財団

4. 主管

長野県スケート連盟

5. 会場

長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)

長野県長野市北長池195 TEL:026-222-3300

※競技会開催中に、競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。

6. 競技距離

距離別選手権部門(SD)

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 5000m 10000m マススタートレース(16周)

ジュニア派遣選手選考部門(Jr.)

女子 500m 1000m 1500m 3000m

男子 500m 1000m 1500m 3000m

7. 競技日程

2020年10月22日(木)

公式練習 10:00-11:00、11:15-12:15、14:00-15:00、15:15-16:15
(各セクションとも開始15分後から30分間スタートトライアルを実施する)
代表者会議 17:00(エムウェーブ)

2020年10月23日(金)

公式練習 8:00-8:45、9:05-9:50
競技開始 10:10 ①Jr.女子500m ②Jr.男子500m ③Jr.女子3000m
ウォームアップ(SD) 11:24-12:04
競技開始 12:30 ④SD 女子500m ⑤SD 男子500m ⑥SD 女子3000m ⑦SD 男子5000m
⑧SD 女子マススタートレース(SF) ⑨SD 男子マススタートレース(SF)
公式練習 競技終了後30分

2020年10月24日(土)

公式練習 8:30-9:15、9:30-10:15
競技開始 10:35 ①Jr.女子1000m ②Jr.男子1000m ③Jr.男子3000m
ウォームアップ(SD) 12:05-12:40
競技開始 13:00 ④SD 女子1000m ⑤SD 男子1000m

⑥SD 女子マスタートレース(F) ⑦SD 男子マスタートレース(F)

公式練習

競技終了後30分

2020年10月25日(日)

公式練習

7:00-7:45、8:00-8:45

競技開始

9:00 ①Jr.女子1500m ②Jr.男子1500m

10:00 ③SD 女子1500m ④SD 男子1500m

ウォームアップ(LD)

11:50-12:20

競技開始

12:40 ⑤SD 女子5000m ⑥SD 男子10000m

※ 競技日程は、参加者数により変更する場合がある。

8. 競技方法

- (1) 本競技会は距離別選手権部門、ジュニア派遣選手選考部門の2部門とし、各部門とも距離別競技会とする。
- (2) 本競技会は、本要項の各規定のほか、ISU規則、本連盟規則に従って実施する。
- (3) トラックは標準 400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マスタートレース(以下「MSR」という。)については、アップレーンを含む全面を使用する。
- (4) ジュニア派遣選手選考部門の1500m以上の距離はカルテットスタートを採用する。
- (5) MSR を除く各部門の各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第 239 条2項に従う。

ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成

- ① 距離ごとに、参加申込みが受け付けられた競技者(以下「参加競技者」という。)について、本連盟が公表した当該距離の2020年3月13日時点の記録(ただし、高地リンクで記録されたものを除く。以下「前年度記録」という。)の順位によって順位付ける。
- ② 前年度記録のない参加競技者については、①までのランキングの最下位に続けて、抽選により順位付ける。

イ) 組合せ及び滑走順

- ① MSR を除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から4名ずつのグループに分け、グループごとの抽選により組み合わせる。この場合、ア)②の参加競技者は同一かつ最下位のグループとする。

Aグループ	1位-4位
Bグループ	5位-8位
Cグループ	9位-12位
Dグループ	13位-16位
Eグループ	17位-20位
Fグループ	21位-24位 等々

- ② 組のスタート順はイ)①の下位グループからとし、最後にAグループとする。

ウ) 抽選後の棄権

イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第 245 条1項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。

エ) 各部門とも、最終順位はISU規則第 265 条、第 268 条及び第 275 条に従って決定する。

- (6) MSR の競技方法は以下のとおりとする。

ア) MSR の競技方法は、ISU規則第 253 条4項 b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい(詳細は、ISUコミュニケーションNo.2195を参照)。

イ) 参加競技者が24名を超えた場合は、準決勝を行い、決勝は16名とする。

- ① 参加競技者を1500mの前年度記録に基づき順位付ける。1500mの前年度記録のない者は抽選により順位付け、前段の最下位の者に続く。
- ② 準決勝は、①により順位付けられた参加競技者を必要な組に配置する。各組への配置は、ISU規則第 296 条4項を準用する。
- ③ 決勝へは、準決勝各組の上位から同数が進出する。

ウ) スタートは、参加競技者が6列に整列して行う。参加競技者の並び順は抽選による。

エ) 3回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1に、中間スプリントと最終のスプリントの合計により決定し、第2に第1に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU規則第265条6項に従う。

9. 表彰

距離別選手権部門の各距離とも1位から3位までの者にメダル、フジテレビ杯及び賞状を授与する。

10. 参加資格

(1) 距離別選手権部門

ア) 本年度の本連盟登録競技者であって次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。この場合、3000mは女子のみとする。

① 前年度国際スケート連盟(以下「ISU」という。)主催競技会に日本代表となった者。この場合、当該競技会で出場した距離に限る。

② 前年度記録(高地リンクを除く)が次の表に掲げる順位以内の成績である者

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m
女子	20位	20位	20位	20位	10位	—
男子	20位	20位	20位	—	20位	10位

③ 前年度のジャパンカップポイントの合計が、次の表に掲げる順位以内の者

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
女子	10位	10位	10位	10位	6位	—	20位
男子	10位	10位	10位	—	10位	6位	20位

④ 前年度の競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の者

対象競技会		500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
全日本スピードスケート距離別選手権大会	女子	6位	6位	6位	6位	6位	—	6位
	男子	6位	6位	6位	6位	6位	6位	6位
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	女子	6位	6位	6位	3位	—	—	3位
	男子	6位	6位	6位	—	3位	—	3位
日本学生氷上競技選手権大会	女子	3位*	3位	3位	3位	—	—	—
	男子	3位*	3位	3位	—	3位	3位	—
全国高等学校スケート選手権大会	女子	3位	3位	3位	3位	—	—	—
	男子	3位	3位	3位	—	3位	3位	—
全国中学校スケート大会	女子	1位*	1位	1位	1位	—	—	—
	男子	1位*	1位	1位	1位	1位	—	—

* 合計タイムの順位

⑤ MSRにあつては、①から④の参加有資格者以外であっても、本競技会のいずれかの部門に参加申込した者は参加することができる。

イ) 次の各号いずれかに該当する者を追加有資格者とし、該当した距離のみ(参加資格距離)に参加することができる。

① (1)ア)以外の者であつて、本年度公式競技会のタイムランキング(2020年10月4日時点の記録であつて高地リンクを除くものとする。)が下表のいずれかに該当する者。なお、(1)ア)⑤は本項目へも適用する。

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m
女子	6位以内	6位以内	6位以内	4位以内	2位以内	—
男子	6位以内	6位以内	6位以内	—	4位以内	2位以内

② (1)ア)の者であっても、(1)イ)①に該当した距離を参加資格距離に加えることができる。

③ 本連盟スピード部委員会が特に認めた者

a. 本連盟強化部の推薦による者

推薦できる者は、前年度の日本代表(シニア)となった者又は当該年度の本連盟強化指定選手(シニア)であつて、本競技会の参加資格がない距離について本競技会競技初日5日前までに推薦された者

b. その他の者

(2) ジュニア派遣選手選考部門

ア) 本年度のジュニア対象年齢の本連盟登録競技者であって次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

① 前年度次のISU主催競技会に日本代表となった者。この場合、当該競技会で出場した距離に限る。

- a. ジュニアワールドカップスピードスケート競技会
- b. 世界ジュニアスピードスケート選手権大会

② 前年度ジュニア対象年齢競技者の記録(高地リンクを除く。これを「ジュニアタイムランキング」とする。)において次の表に掲げる順位以内の成績である者。

	500m	1000m	1500m	3000m
女子	30位	30位	30位	30位
男子	30位	30位	30位	30位

③ 前年度の競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の者

対象競技会		500m	1000m	1500m	3000m
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	女子	8位	8位	8位	6位
	男子	8位	8位	8位	—
全国高等学校スケート選手権大会	女子	6位	6位	6位	6位
	男子	6位	6位	6位	—
高校選抜スピードスケート競技会	女子	6位	6位	6位	6位
	男子	6位	6位	6位	6位
全国中学校スケート大会	女子	3位 *	3位	3位	3位
	男子	3位 *	3位	3位	3位

* 合計タイムの順位

(3) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

11. 参加距離

(1) 同一の距離においては、距離別選手権部門、ジュニア派遣選手選考部門のいずれかへの参加とする。

(2) 参加有資格者は、参加資格を取得する条件を充足した距離(以下「資格取得距離」という。)について参加することができる。ただし、男子3000mについてはISU規則第108条第1項d)に定めるジュニア対象年齢(2001年7月1日以降に生まれた者)の者のみが参加できるものとする。男子3000mが資格取得距離であるシニア対象年齢の者は、これを男子1500m又は5000mに振り替えて参加することができる(男子1500m又は5000mが既に資格取得距離であったとしても、他の距離への振替は認めない。)

(3) 次の距離は参加申込締切時点の参加申込者数により参加制限を設定する。

ア) 女子5000m及び男子10000mの競技参加者は最大12名とする。参加申込者が12名を超えた場合は次の優先順で12名を競技参加者とする。

- ① 本競技会の女子3000m又は男子5000mの6位以内の者
- ② 当該距離の前年度記録順

イ) MSRの競技参加者は最大24名とする。参加申込者が24名を超えた場合は準決勝を行い、決勝は16名とする。

(4) 本連盟強化指定選手(シニア対象年齢者)であって、本連盟強化委員会が推薦し本連盟スピード部委員会が承認した者は(2)(3)の制限に関わらず参加資格を取得していない距離への参加を認めることができる。この場合、(3)アの①②を満たすことなく女子5000m又は男子10000mへの参加が認められた者は、競技参加者最大数の外数とする。

12. 参加申込

(1) 参加資格を有する者には JSF マイページ (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) の競技会参加申込サイト(以下「サイト」という。)で申し込むこと。

ア) 参加申込する距離により、「距離別選手権部門(SD)」、「ジュニア派遣選手選考部門(Jr.)」の両方への参加申込を要する。

- イ) 参加申込完了直後に参加申込者の登録されたメールアドレスにサイトから自動送付される参加申込受理の通知(以下「受理通知」という。)を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
- ウ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
- エ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、イ)同様に受理通知を受け取る。(サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
- オ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書を提出すること。
- カ) 大会事務局
〒381-0025 長野県長野市北長池 195 エムウェーブ内
全日本スピードスケート選手権大会事務局
TEL:026-267-0288 FAX:026-267-0289 E-mail:info@skating-nsa.jp
- 本連盟事務局
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 Japan Sport Olympic Square
公益財団法人 日本スケート連盟
TEL:03-5843-0415 FAX:03-5843-0416 E-mail:jsf@skatingjapan.or.jp
- キ) 参加申込状況は参加申込締切後、本連盟ホームページに公開する。
- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う(銀行振込に限る)ものとし振込手数料は申込者の負担とする。ただし、複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書を大会事務局へ送付すること。
- ア) 参加申込料 1名 1距離につき 5,000 円
- イ) 振込先
金融機関名: 八十二銀行 南長池支店
口座番号: 普通 212997
名義: スケート大会長野事務局 事務局代表 渡辺 勇 (ワタナベ イサム)
- ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない(未納の者にあつてはこれを徴収する)。ただし、次に掲げる者はこの限りではない。
- ① 11.(3)アの参加制限により出場できなくなった者の当該距離相当分
- ② 本連盟が特に認めた者
- エ) (2)ウ)に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。
- (3) 参加申込締切
- ア) 参加有資格者 2020年10月7日(水) 正午 ※受付開始:2020年9月8日(火)
- イ) 10.(1)イ)③a.の推薦者 2020年10月18日(日) 正午
- (4) 中学生以下の者にあつてはサイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。
- (5) 参加申込(12.(1)に定める参加申込及び12.(2)に定める参加申込料の支払いのいずれか一方又は両方)が遅延した者又は12.(1)の参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。この場合、この者の参加申込料が支払われているときは12.(2)ウ)による。
- (6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

13. 宿泊

各自で手配すること。

14. その他

- (1) 本連盟基準の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。

- ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。
- ① 体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- イ) マスクを持参すること。
- ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。
- オ) 競技中に大きな声で会話、応援をしないこと。
- カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- キ) 本競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ク) 本連盟は本競技会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任を負わない。
- (2) 本競技会中(7.の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。
- (3) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
- (4) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ア) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- イ) 未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- ウ) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- エ) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。
- (5) 本競技会の成績により次の競技会への派遣選手を選考する。
- ア) 2020/2021 ISU ワールドカップスピードスケート競技会 第1戦から第4戦
- ~~イ) 2020/2021 ISU ジュニアワールドカップスピードスケート競技会 第1戦~~
- (6) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。

この大会は、「ながの夢応援基金」を活用しています